

# 「外国人留学生の採用と日本語能力に関する調査」 結果レポート



## ■ 調査趣旨

これまでに官公庁・公的機関や人材会社が実施した調査では、外国人留学生の採用にあたって企業が日本語能力を重視していることが指摘されてきました。例えば、経済産業省の調査(※)では、外国人留学生採用の決め手となった理由として、最も多くの企業が「日本語能力」を挙げています。日本で就労する上で、日本語が重要であることは疑う余地がありません。

しかし、採用側企業が留学生の日本語能力をどうとらえているのか、どのような能力が企業活動の中で必要になるのかについては必ずしも明らかではなく、外国人グローバル人材育成に携わる教育機関等の関係者は、それぞれで日本語の指導内容を模索している状況だと言われています。

そのような状況を踏まえ、財団法人日本漢字能力検定協会では、下記のとおり「外国人留学生の採用と日本語能力に関する調査」を実施しました。外国人材の育成・活用に携わる皆様のご参考になれば幸いと存じます。

※ 平成18年経済産業省委託「日本企業における外国人留学生の就業促進に関する調査研究」

## ■ 調査概要

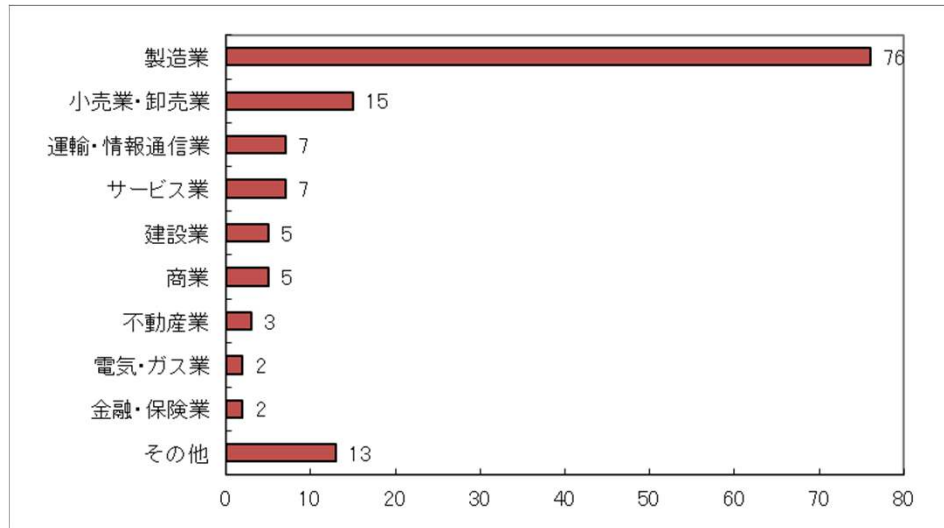
- ・ 調査名 「外国人留学生の採用と日本語能力に関する調査」
- ・ 調査期間 2012年1月16日～6月29日
- ・ 調査対象 東証一部上場企業等1170社の人事採用担当者
- ・ 調査方法 Webアンケート
- ・ 有効回答数 139社(有効回答率 11.9%)

## 基本情報

### ■ 業種

製造業	76
小売業・卸売業	15
運輸・情報通信業	7
サービス業	7
建設業	5
商業	5
不動産業	3
電気・ガス業	2
金融・保険業	2
その他	13

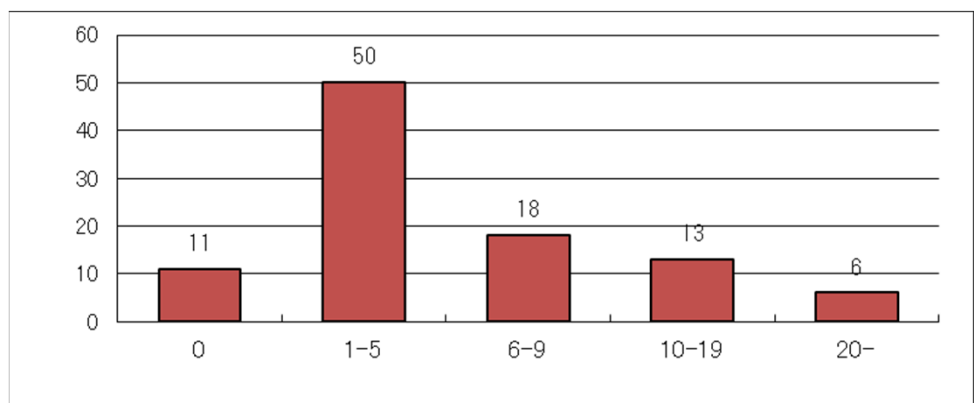
(n=135)



### ■ 外国人社員数規模(日本国内勤務)

0人	11
1人~5人	50
6人~9人	18
10人~19人	13
20人以上	6
その他(若干名)	1

(n=99)



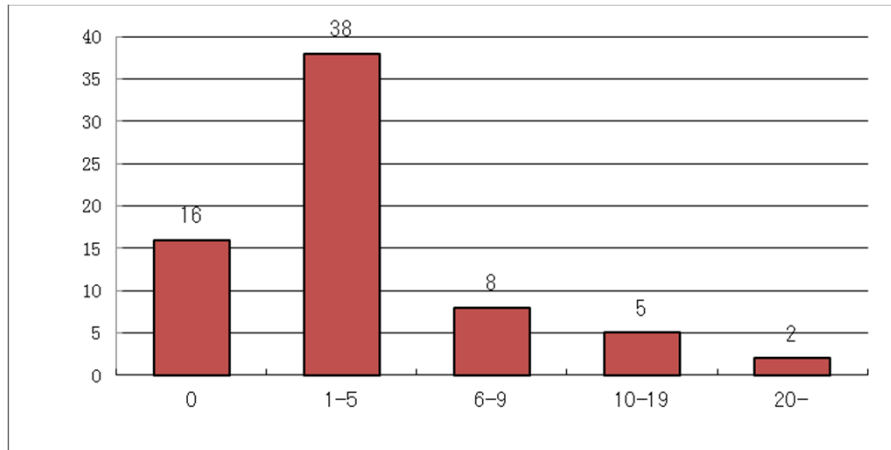
## 外国人留学生の採用に関して

■ 2012年度中に入社予定の外国人留学生数について教えてください。

1~5名の留学生が2012年度に入社予定である企業が69社中38社と半数を超えた。それに対し、10名以上の留学生が入社予定の企業は7社と全体の10%ほどである。また、回答企業の20%強が採用数0であり、以降の調査では留意する必要がある。

0人	16
1人~5人	38
6人~9人	8
10人~19人	5
20人以上	2

(n=69)

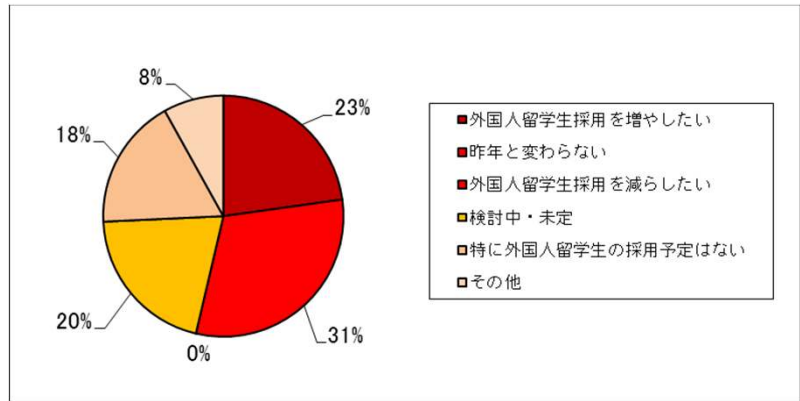


■ 2013年度入社の外国人留学生採用について、採用意向を教えてください。

「昨年と変わらない」と回答した企業が136社中42社と最も多く、次いで「外国人留学生採用を増やしたい」と回答した企業が31社にのぼった。「採用を減らしたい」と回答した企業は一社もない。

外国人留学生採用を増やしたい	31
昨年と変わらない	42
外国人留学生採用を減らしたい	0
検討中・未定	28
特に外国人留学生の採用予定はない	24
その他	11

(n=136)



### ※その他の詳しい内容

「外国人留学生と日本人を分けて採用活動はしません」「日本人・外国人関係なく、同じ採用基準のもと選考」「国籍問わず採用しているので、良い学生がいれば採用したい」「留学生には拘らないが、外国人採用は増やしたい」

### 外国人留学生の採用について

- ・ 2012年度の留学生採用に関しては、若干名のみの採用の企業が全体の67%にのぼった。
- ・ しかし、2013年度以降の採用について、「昨年と変わらない」「採用を増やしたい」と考えている企業が60%を超えているのに加え、「採用を減らしたい」と回答した企業が一社もないことから、今後は留学生採用枠を拡大する企業が増加することが考えられる。

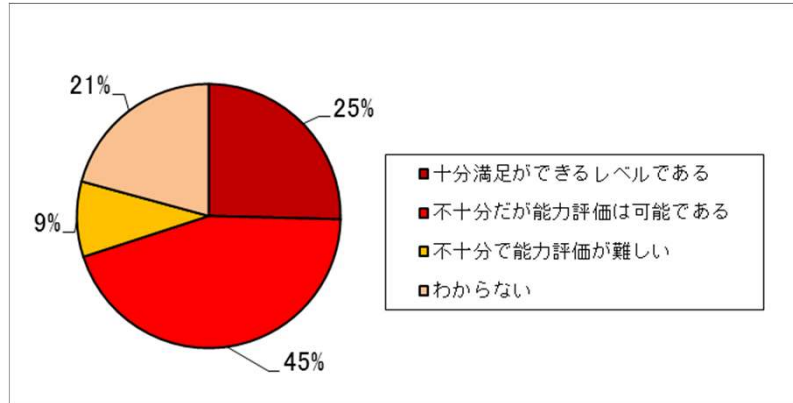
## 外国人留学生の日本語能力に関して

### ■ 貴社の採用選考に応募している外国人留学生の日本語能力は いかがですか？

日本語能力が「不十分」と回答した企業が70社(45%)にのぼり、そのうちの12社が能力評価に難しさを感じている。「十分満足できる」と回答した企業は33社である。

十分満足ができるレベルである	33
不十分だが能力評価は可能である	58
不十分で能力評価が難しい	12
わからない	27

(n=130)

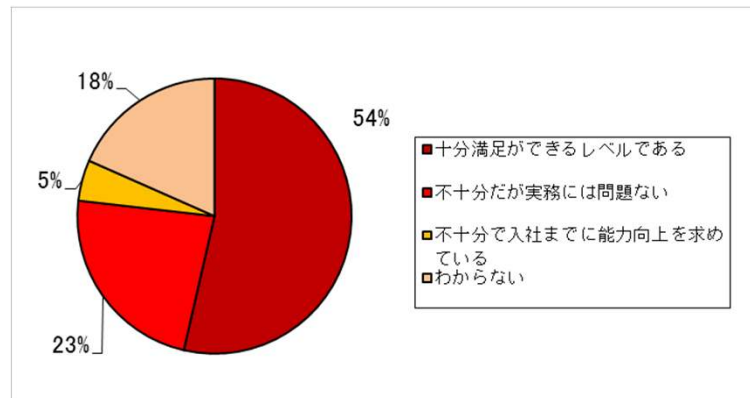


### ■ 貴社が実際に採用内定を出している外国人留学生の日本語能力は いかがですか？

日本語能力が「十分満足できる」と回答している企業が67社と最も多い。対して、「不十分」と回答したのは35社。そのうち6社が「入社までに能力向上を求めている」。

十分満足ができるレベルである	67
不十分だが実務には問題ない	29
不十分で入社までに能力向上を求めている	6
わからない	23

(n=125)



### 企業が求める外国人留学生の日本語能力について

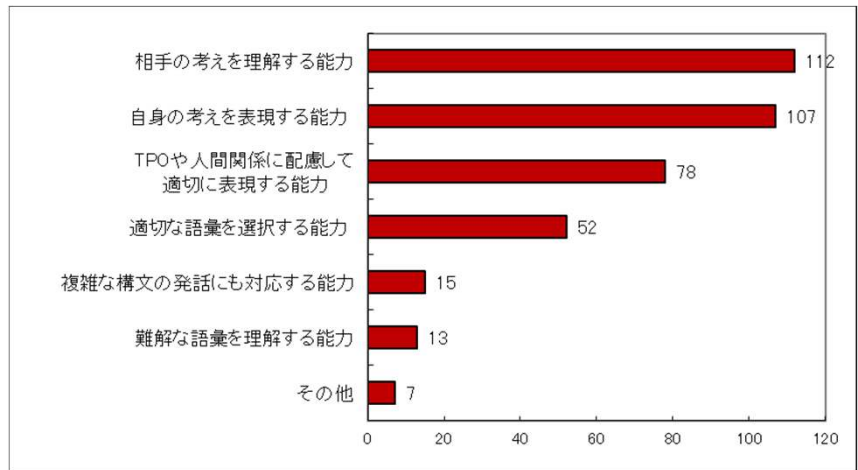
採用選考に応募する外国人留学生の日本語能力は、求めるレベルに対して不十分だと感じている企業が多いのに対し、内定を出した外国人留学生の日本語能力には満足している企業が多いことから、日本語能力が高い学生が採用される傾向にあると考えられる。

■ 採用選考時に、重視する日本語スキルは右記のうち、どれですか？  
Speaking & Listening (複数回答可)

「相手の考えを理解する能力」を重視する企業が112社と最も多く、次いで「自身の考えを表現する能力」を重視する企業が107社にのぼる。

相手の考えを理解する能力	112
自身の考えを表現する能力	107
TPOや人間関係に配慮して適切に表現する能力	78
適切な語彙を選択する能力	52
複雑な構文の発話にも対応する能力	15
難解な語彙を理解する能力	13
その他	7

(n=127)

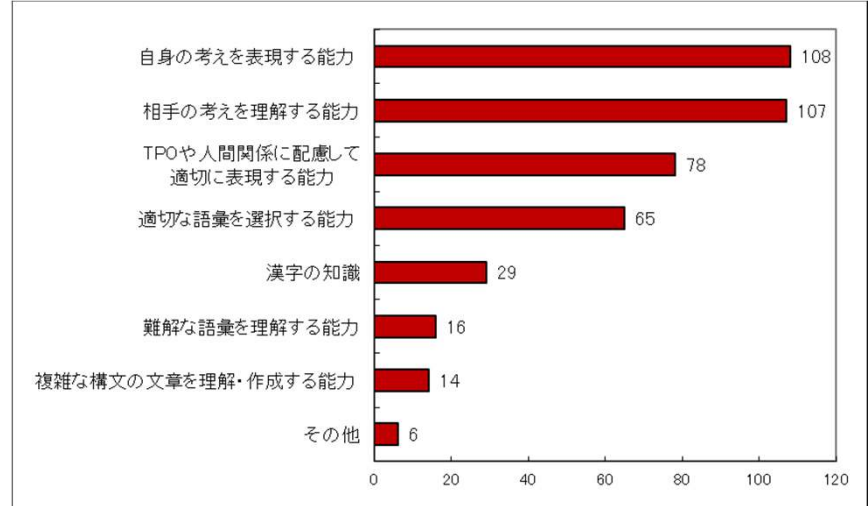


■ 採用選考時に、重視する日本語スキルは右記のうち、どれですか？  
Writing & Reading (複数回答可)

「自身の考えを表現する能力」を重視する企業が108社と最も多く、次いで「相手の考えを理解する能力」を重視する企業が107社にのぼる。

自身の考えを表現する能力	108
相手の考えを理解する能力	107
TPOや人間関係に配慮して適切に表現する能力	78
適切な語彙を選択する能力	65
難解な語彙を理解する能力	29
漢字の知識	16
複雑な構文の文章を理解・作成する能力	14
その他	6

(n=127)



採用選考時に、企業が重視する日本語スキルについて

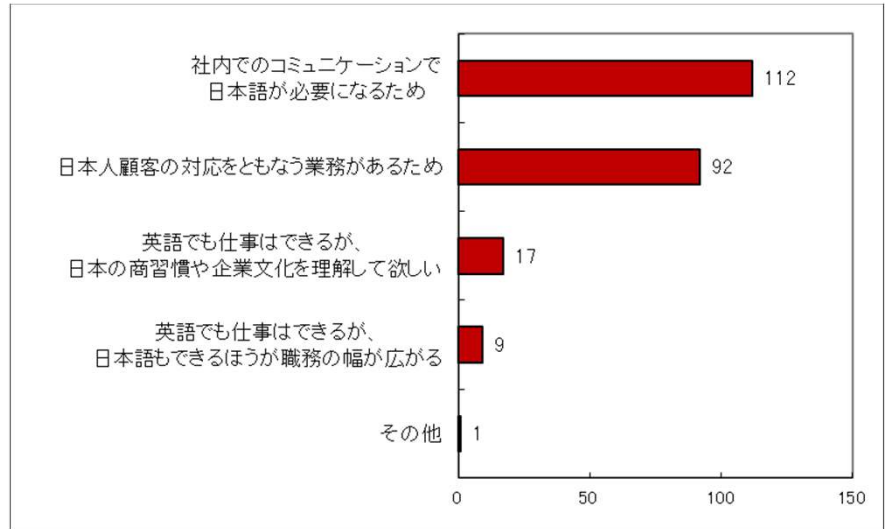
- ・4技能全てにおいて約90%の企業が「相手の考えを理解する能力」、「自身の考えを表現する能力」を重視している。
- ・また、「TPOや人間関係に配慮して適切に表現する能力」、「適切な語彙を選択する能力」などの比較的高度な日本語スキルを重視する企業も40～60%にのぼる。

■ 上記設問で選択した日本語スキルを重視する理由を教えてください  
(複数回答可)

90%の企業が「社内でのコミュニケーションで日本語が必要になるため」と回答、  
次いで75%の企業で「日本人顧客の対応を伴う業務があるため」という理由が挙げられた。

社内でのコミュニケーションで日本語が必要になるため	112
日本人顧客の対応をともなう業務があるため	92
英語でも仕事はできるが、日本の商習慣や企業文化を理解して欲しい	17
英語でも仕事はできるが、日本語もできるほうが職務の幅が広がる	9
その他	1

(n=124)



**企業が留学生に対して日本語コミュニケーション能力を求める理由、背景**

- ・社内外ともに仕事上の言語は日本語を使用しており、英語等の外国語でコミュニケーションを図る機会があまりない様子がうかがえる。
- ・前項で挙げられた日本語スキルは、「できたほうがよい」ことではなく、「業務上の必要性に迫られた必須の」スキルと言える。
- ・社外とのやり取りを伴わない業務を除き、TPOや人間関係に配慮するといった高度なコミュニケーション能力が外国人社員にも求められている。



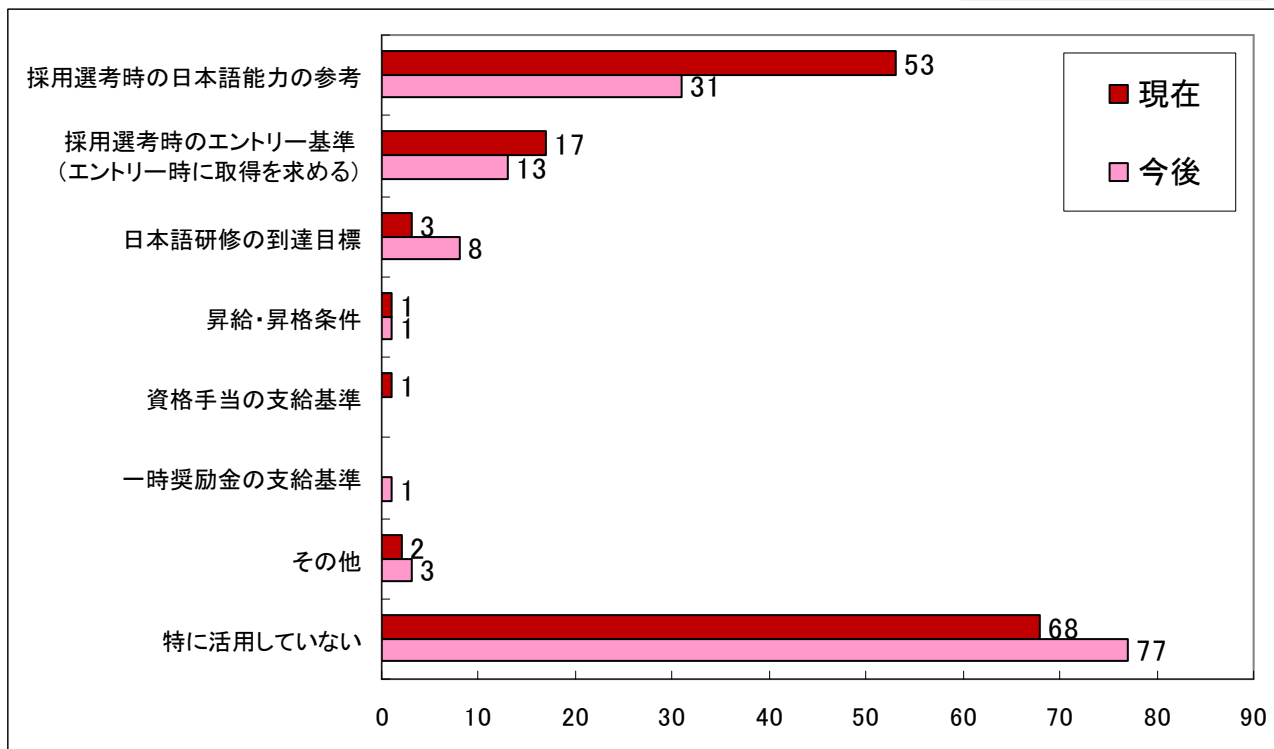
## 日本語資格の活用状況に関して

- 日本語の資格を活用している／今後活用したい人事制度について教えてください。  
(複数回答可)

日本語資格を活用している企業66社中61社が採用選考時に日本語資格を活用している。  
今後活用意向があるのは52社。うち47社が採用選考時に活用。  
入社後の活用では、6社→9社とわずかながら増加している。

	現在 (n=134)	今後 (n=129)
採用選考時の日本語能力の参考	53	31
採用選考時のエントリー基準 (エントリー時に取得を求める)	17	13
日本語研修の到達目標	4	8
昇給・昇格条件	1	1
資格手当の支給基準	1	0
一時奨励金の支給基準	0	1
その他	2	3
特に活用していない	68	77

左記の回答には、外国人  
(留学生)の採用を実施し  
ていない企業(p2,3参照)  
が含まれていることにも留  
意する必要がある。



## 日本語資格の活用について

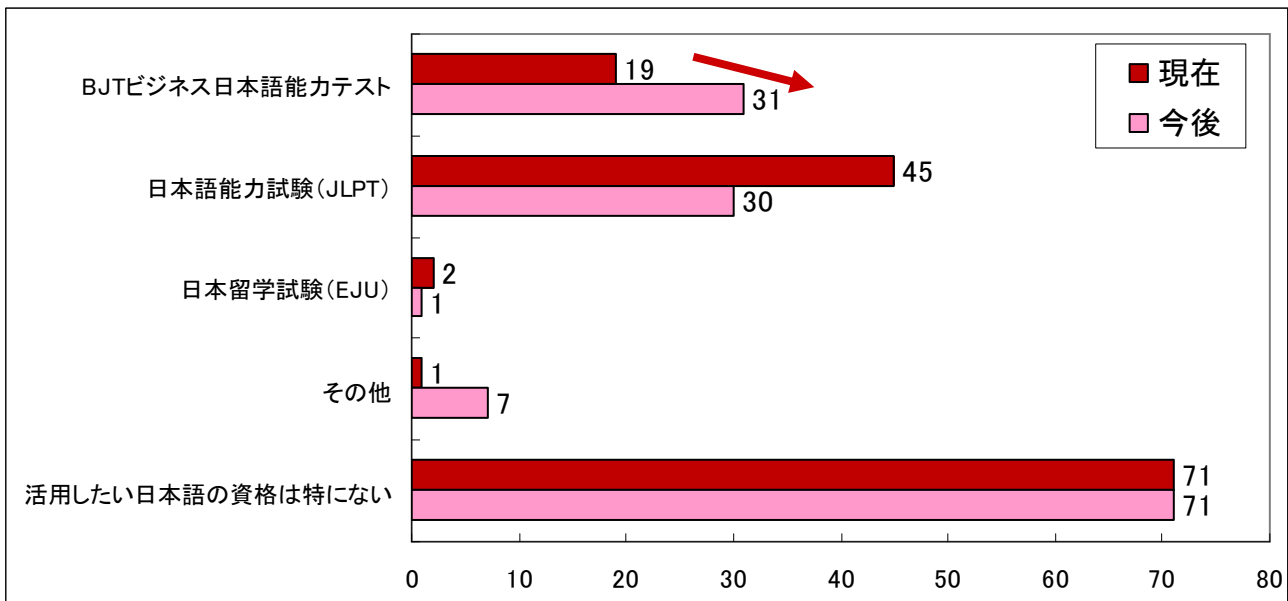
- ・日本語資格を活用している企業のほぼ全てが採用選考時に資格を活用しているが、活用自体は減少傾向。
- ・日本語研修の到達目標のみ増加しており、入社後のフォローに力を入れている傾向が見られる。

■ 活用している日本語の資格について教えてください。(複数回答可)

現在活用している資格では、日本語能力試験(JLPT)と回答する企業が45社で最も多いが、今後活用したい資格では、30社に減少。  
逆に、BJTビジネス日本語能力テストは19社から31社に増加している。

	現在 (n=122)	今後 (n=127)
BJTビジネス日本語能力テスト	19	31
日本語能力試験(JLPT)	45	30
日本留学試験(EJU)	2	1
その他	1	7
活用したい日本語の資格は特にない	71	71

左記の回答には、外国人(留学生)の採用を実施していない企業(p2,3参照)が含まれていることにも留意する必要がある。



企業が今後活用したいと考えている日本語の資格

- ・日本語の資格を何らかの形で活用している企業51社中45社がJLPTを見ていることから、企業でも日本語能力を測定する試験としてスタンダードとなっていることがうかがえる。
  - ・反面、今後の活用意向では、BJTが伸びJLPTが減少。活用企業数でBJTがJLPTをわずかながら上回っている。
- 企業がよりビジネス場面に即した日本語コミュニケーション能力を把握したい様子が見えてくる。